

広汎性子宮全摘出術を受けられる患者様

患者様用

患者様氏名：

様

受け持ち医：

受持看護師署名：

月 日(日 時)	／	／	／	／	／	／ ～ ／	／ ～ ／
経 過(病日等)	入院日	手術当日	手術後1日	手術後2日目	手術3日目～6日目	手術7日目	手術8～22日目(退院)
達成目標	◆貧血の程度を確認する ◆必要な検査が終了する ◆手術の必要性を患者・家族が理解し同意する	◆浣腸後十分な反応便がある ◆手術の準備が整っている	◆循環動態が安定している ◆下肢の循環障害・皮膚のトラブルがない ◆創痛がコントロールできる ◆手術創からの出血がない	◆下肢の循環障害皮膚トラブルがない ◆創痛がコントロールできる ◆手術創からの出血がない ◆ドレーンより血性の排液が増加しない ◆離床できる	◆深部静脈血栓症の兆候がない ◆創痛がコントロールできる ◆創部の感染兆候がない ◆ドレーンより血性の排液が増加しない ◆離床できる	◆尿管感染を起こさない ◆残尿が100mL以下である ◆排尿機能が回復し、残尿が減少する ◆リンパ浮腫予防について理解できる	◆尿管感染を起こさない ◆残尿が100mL以下である ◆排尿機能が回復し、残尿が減少する ◆尿道カテーテルを抜去できる
治療・薬剤 (点滴・内服)	眠れない場合は 睡眠薬を服用できます	手術が午後の場合点滴 (500ml)を行います	点滴をします 			排便がなければ下剤や坐薬を使用します	7日目診察があります 
処 置	除毛をします 夕食後 19時頃浣腸をします	朝(6時頃)浣腸 手術の開始時間 () 時頃	尿管が入ります 左右のおなかから管が1本ずつ入ります 腰から麻酔のチューブが入ります			術後7日目に抜去します 術後7日目に抜去します	
検 査				採血(朝)します		採血(7日目)します	
活動・安静度	制限はありません		体の向きを変えます 足を動かします	ベットサイドに立ちます	病棟内歩行ができます 		制限はありません 頑張って歩きましょう
食 事	夕食後()時より絶食です	水分は()時より飲めません		2日目昼食より食事が開始となります 流動食から3分粥・5分粥・全粥・米飯となります。 			
清 潔	除毛後に入浴をします マニキュアはとりましょう		体を拭きます		受持ち医確認後にシャワー浴ができます		
排 泄						尿道カテーテルを抜去します	トイレで排尿を行います
患者様及びご家族への説明 リハビリ 栄養指導 服薬指導	受持ち医により入院診療計画・手術の説明をします 看護師より入院時の説明・看護計画の説明をします 前日に麻酔科医師の診察と手術室看護師の訪問があります 薬剤師が薬について説明をいたします 入院費に関するご心配がありましたら、お早めに6番窓口にご相談ください 必要物品婦人科Aセット (腹帯2枚・T字帯2枚・大パット2枚・中パット10枚)を購入についてご案内します	手術の結果を説明します 				看護師より残尿測定・排尿訓練について説明があります ドレーン抜去後よりリンパ浮腫予防についての説明を行います	受持ち医から組織検査の結果と治療方針の説明があります 看護師から退院後の生活について説明を行います

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査を進めていくに従って変わることがあります。

注2 入院期間については現時点で予想される期間です。

国立病院機構熊本医療センター 産婦人科 2025. 1月改訂